



ぶらりらいぶらりい

～図書室にはこんな本があります～

No. 91

★ 特別企画展「学生たちの戦中・戦後」に関する昭和館図書室の資料をご紹介します。
(書名の後の()の数字は請求記号です。)

問) 当時、学徒動員された学生たちの体験集(手記)が見たい。

答) 「学徒動員」を **ことば** で検索し、 **分類** で内容を絞ります。

図書 → **ことば** → **学徒動員** (190件該当)

分類 → 大分類一覧 **9 文学**
→ 中分類一覧 **91 日本文学**
→ 小分類一覧 **916 ルポルタージュ** (88件該当)
* 体験集や手記を含みます

『ああ学徒動員青春の思い出』(916/G16) 閉架
『戦時下の女学生時代』(916/Ma79) 閉架
『証言・学徒勤労働員』(916/Mu82) 閉架
『学徒動員のころ』(916/N37) 開架 他

◎ 特別企画展開催期間(7/28～9/2)において、閲覧室内に関連図書コーナーを設け紹介しています。
資料リストを配布していますので、併せてご利用ください。

図書室には、書棚に並んでいる図書以外にもたくさんあります。
検索端末を使って、読みたい本を探してみてください。
操作方法等、カウンター職員までお気軽にお問い合わせください。

今回は、『主婦の友』に掲載された、防空壕に入るときの健康に関する注意の記事を紹介します。

— 大人子供急病の手当と看護 —

日射病・脳貧血・脳溢血・腹痛・下痢・嘔吐 築田多吉

… (前略) …

▲ 壕に入る時の注意

高い熱の出る病人や、安静を要する病人が、たびたび壕内に出入し、数時間無理な生活をすると、てきめん病気に障り、悪化します。これらの手当とかやり方は、病気によって違いますから一々書くことはできませんが、共通の心得としては平素から、待避する場合には如何にして壕内に入り、如何なる方法で壕内に寝ているか、それらの準備と心構えを考えておき、いつでも予定の行動をとれるようにすることが大切であります。

病気によっては夜中など湯たんぽを要する場合がありますが、これは急場の間に合いませんから暖炉を常備するとか、壕へ往復するときの病人の運び方も、担架などは壕内に入りにくいから二三人で抱いて運ぶといった注意が大切です。

また、病人によっては、頓服薬、湯茶、便器などを持って入ることが必要な場合もあり、胸に湿布などしている病人は、床中を出ると湿布のため冷えて有害な場合もありますから、胸の湿布は取り除いて、真綿や毛布で保温の注意をすることも大切です。夜間でも温度のひどく変わることもあり、暖かいと思って油断をすると重い病人には非常に障ります。

その他萬一の場合を考え、平常から心の準備が必要であります。

『主婦之友 第29巻第7号(昭和20年7月)』(051/Sh99/29-7)より
※旧漢字、旧かなづかいは改めました。



— 図書室から —

夏休みが始まります。図書室では小中学生を対象に閲覧室置きの図書をまとめた「夏休み宿題・研究資料(平成19年度)」作成しました。配布していますので、参考としてご利用ください。また、このリストは当館のホームページにも掲載しますので、ご覧ください。

ぶらりらいぶらりい ~図書室にはこんな本があります~ No. 91
2007年7月22日 発行
編集・発行 昭和館 図書室
〒102-0074 東京都千代田区九段南1-6-1